

緑風

学校だより第4号
令和6年3月8日発行



「輝かしい未来に向かって」

教頭 増田 望

春の日差しに雪が解けはじめ、山並みの景色が彩りを取り戻す季節を迎えました。本日、卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年前の春、新型コロナウイルス感染症の広がりによる日常生活に多くの制限の中、ここ夕張高等養護学校に入学してきた4名が、今日の日を迎えたことをうれしく思います。これからは社会の一員としての生活が始まります。戸惑うこと、困ることもたくさんあるかもしれませんが。時には、自分の力で解決しなければならないこともあるかもしれません。そんな時には、この3年間、夕張高等養護学校で学んだことを思い出してほしいと思います。仲間と過ごすことにより得た学びや力が、困難を乗り越えていけると信じています。

保護者の皆様には、3年間、本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝を申し上げます。特に週末の送迎は大変だったことと思います。これまで、お子様の健やかな成長を願い、時には厳しく接し、時には温かく見守り続けてくださったことと思います。そして、本日の卒業証書授与式を迎えられたことに、心からお祝い申しあげます。

新しい門出に際して、これからも、より多くの人と出会い、つながりを広げ、自分らしく、それぞれの輝かしい未来に向かって進んでいくことに私たちは、熱いエールと深い感謝を送ります。3年間、ありがとうございました！

Belive in yourself

なりたい自分になる！！

**夕張高等養護学校
2024**

(美術：壁画制作)





卒業に寄せて

～大丈夫、自分を信じて！ やれば、できる！～



三年生の皆さん、そして保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。この佳き日を一緒にお祝いできることを嬉しく思います。

入学した頃の写真を眺めていると、まだあどけなさが残る様子がありましたが、今、卒業を迎えた四名は、すっかり青年の表情をしています。三年間はあっという間ではありましたが、日々の生活や学習がみなさんにしっかりと積み重なってきたことを感じました。

三年生の皆さんの高校生活の思い出はなんでしょう。修学旅行？学校祭？そうですね。準備の段階からのわくわく感、当日の緊張感や高揚感、終えたときの達成感や満足感。サイコーでしたね。

日頃の学習はどうでしょう。理科の実験、社会のテスト、英語のスピーキングに体育の試合。国語の朗読劇や数学のウボンゴで脳みそフル回転！生単で栄養を考えながらのお弁当作りも楽しかったけれど、美術で行った動画作成も楽しかったですね。作業学習はいつも真面目に取り組んでいて感心したものです。こういった毎日の積み重ねが見学旅行や学校祭といった大きな行事の成功へと結びついたのだと思います。毎日の生活一つ一つを丁寧に送ることが大切です、そうしてきた成果だと思うのです。

社会人という新しいステージに立つ皆さん。不安もあるかとは思いますが、「大丈夫、私を信じて、やればできる！」の合い言葉の通り、自信をもって前へ進んでください。周りには皆さんの応援団がたくさんいます。新しい出会いや活動がこれからの豊かな生活につながっていくよう応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様にはこの3年間、送迎をはじめとして大きなことから小さなことまで、多大なるご理解とご協力をいただきましたことを3学年一同、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

（文責：小林）



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

夕張高等養護学校で過ごした3年間はいろいろと大きく成長したのではないのでしょうか。不安そうな表情で登校して入学式を行い、その日から親元を離れ寄宿舎生活も始まりました。いつもなら当たり前だったことが、当たり前でなくなったことも経験しました。その中でも笑顔を忘れず一生懸命に過ごした日々は、今後の人生においてとても貴重な経験としてみんなの財産になるはずです。

最後になりましたが、保護者の皆様には、いつも多大なるご理解とご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。3年間ありがとうございました。

（文責：山田）

